

初発肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術と開腹肝切除術の短期および長期成績の比較

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

肝細胞癌という病気は、重症化するリスクが高く、早期に治療を開始することが重要と考えられています。2010年に腹腔鏡下肝切除術が本邦で保険収載され、2016年には腹腔鏡下系統的肝切除まで適応が拡大されました。

腹腔鏡下手術は開腹術に比べ、傷が小さくなることから、整容性の向上、痛みの軽減、入院期間の短縮が見込まれています。この研究では当院における肝細胞癌（HCC）に対する腹腔鏡下肝切除術の短期および長期成績について開腹肝切除術と比較検討し、腹腔鏡下肝切除術の有効性を検証することを目的としています。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2015年1月から2023年12月に当院で肝切除術を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、肝炎ウイルス、腫瘍個数、腫瘍径、血液検査データ、手術時間、出血量、術後在院日数、3年及び5年後の病状など

使用開始予定日：2025年3月7日以降

研究予定期間

2025年3月7日～2028年12月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 外科 塚本雅代

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 塚本雅代

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)